

令和5年度 事業報告

1 事業の概要

令和5年度生活介護は、年度中に2名の利用者が入所となり、いずれも重度障害であったことから、その後の支援の日常が大きく変わる転換期となった。

放課後等デイサービスは、支援学校児童が7名、地域の小学生4名、合計11名が利用。内、地域の小学生3名は年度途中からの利用であった。

それぞれ障害の特性のある利用者、児童を時には個別に、時には集団で楽しく過ごせるよう工夫をしながら支援をしている。

地域活動支援センターさんぽでは、ほぼ毎日利用者があり、楽しい会話が聞かれている。『障害者に関する交流会』は2年目を迎え、年3回の開催を継続している。

2 令和5年度事業の実施に関する報告事項

① 障害者及び障害児の福祉に関する事業

ⅰ 障害者総合支援法に基づく生活介護事業所の実施運営

<サービスの概要>

排せつ及び食事等の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力向上のために必要な援助を行う。

○生活介護事業所スマイル（京都府指定 2611500592）

*利用契約者数 10名（男 2名、女 8名）／定員10名

*実利用者数 10名（男 2名、女 8名）

（内訳）区分3 4名、区分4 2名、区分6 2名（R6.3.31 現在）

（延べ利用者数）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開所日数	20日	23日	22日	21日	21日	21日	21日	22日	20日
区分3	11	13	15	8	8	20	30	31	27
区分4	26	33	30	29	25	29	28	28	28
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分6	41	45	46	39	51	43	33	29	29
計	78	91	128	76	84	92	91	88	84

	1月	2月	3月
開所日数	20日	21日	21日
区分3	22	27	16
区分4	26	26	30
区分5	0	0	0
区分6	29	32	32
計	77	85	78

	合計
開所日数	253
区分3	228
区分4	338
区分5	0
区分6	449
計	1015

- 日常支援 さんぽ、清掃作業、買い物
- 創作・生産活動 自主製品作製、タイルアート、クッキング、園芸・農作業 など
- 販売活動 スマイルバザー（展示販売） 和知なごみバザー

< 課題・評価 >

重度障害（区分6）の利用者2人が、6月と9月に当事業所を退所し施設入所となった。これまでは、重度障害者が半数であったことから、支援の体制が大きく変わった。長く家庭で過ごしていた人が、週1日2時間から利用ができるようになったり、電車移動の練習、制作等、利用者に寄り添い充実した支援を行う。活動室を開放し、スマイルカフェを開催。ご家族や地域の方が来ていただき、利用者との交流ができた。恒例のスマイルバザーでは、多くの方が来られスマイルを知っていただく良い機会となっている。

ii 児童福祉法に基づく放課後等デイサービスの実施運営

<サービスの概要>

授業の終了後又は学校の休業日に、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行う。

- 放課後等デイサービススマイルピース（京都府指定 2651500015）
- *利用契約者数 12名（男 6名、女 6名）
- *実利用者数 12名（男 6名、女 6名）/定員10名（1日当たり）
- （内訳） 支援学校 高等部2名 中学部4名 小学部1名 ひかり小1名 和知小3名
- （R6.3.31 現在）

（延べ利用者数）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開所日	20	20	22	20	20	20	20	20	20
男	50	51	55	49	34	47	51	59	65
女	85	71	62	73	71	64	63	71	67
計	135	122	117	122	105	111	114	130	132

	1月	2月	3月	合計
開所日	19	19	20	240
男	62	71	72	666
女	67	66	71	831
計	129	137	143	1497

- 取り組み 運動（公園、アスレチック等）室内あそび（絵描き、パズル）
- お出かけ カップヌードルミュージアム・おもちゃ王国・ひらパー・川崎ワールド・天橋立・生田銀山・丹後鉄道・映画・天空美術館・プールなど

< 課題・評価 >

5月に新型コロナ感染症がインフルエンザと同様の5類感染症となったことで、毎日の活動範囲が、コロナ前に戻ってきたことは嬉しいことである。しかしながら、感染力の強い感染症であり、換気、手洗いの徹底、食事の座る位置などの配慮は継続している。1日当たりの利用者数は平均 6.2 人であり、毎日利用する児童が契約の半数程度であることと、必要な支援のための職員体制の都合で週3日の利用をお願いしているところがある。利用希望の問い合わせは数件あるが、個別対応が必要な児童となると、それに応じることが難しく断とわざるをえない状況がある。

また、保護者からの利用希望ではなく、地域の学校や学童で対応が困難であるため放デイを利用させてもらえないかという問い合わせが今年度は数件あった。障害があるなし関係なく地域でのびのびと子どもは育てほしいと願っている当事業所として、地域の学校や学童での障害児の理解、支援・配慮のスキルを充実させたい、との思いを強く持った。

iii 日中一時支援事業受託実施（京丹波町）

<サービスの概要>

障害者等の日中における活動の場を確保することにより、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族等の一時的な休息の確保並びに障害者等の日常生活を支援する。

*R5年度 現利用者 京丹波町 7名

(実利用者数)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計	4人	6人	4人	6人	6人	6人	5人	5人	2人

	1月	2月	3月
計	5人	6人	6人

	合計
計	61人

○令和4年4月より、京丹波町の日中一時支援事業の人員配置基準の改正に伴い開所日を制限していたが、毎月第二土曜日と祝日を開所日とする。

< 課題・評価 >

固定されていた利用者が、入所等で減っている中、日中一時支援事業の必要性は以前と変わらず感じている。毎週土曜の開所には、正職員の確保が必要になる。

iv 京丹波町地域活動支援センター事業の運営（町委託）

<サービスの概要>

*登録者数 47名 (R6.3.31 時点)

障害者等を対象に障害者等の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、日常生活支援、創作的活動及び生産活動の機会の提供並びに地域交流活動等を行う。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
開所日数	20日	20日	22日	20日	22日	20日	20日	20日
延べ利用者数	31	38	45	55	51	69	62	57
実利用者数	12	14	23	16	15	19	20	17

(人)

	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21日	18日	20日	21日	244日
延べ利用者数	55	47	66	79	655
実利用者数	18	17	23	23	217

○創作活動

毎月のチャレンジ

- 4月 お花紙で作るカーネーション
- 5月 つまみ細工の紫陽花作り
- 6月 うちわ作り
- 7月 音の鳴らない風鈴作り
- 8月 わらび餅作り
- 9月 モビール作り
- 10月 ダイヤモンドアート作り
- 11月 キャンドル作り
- 12月 正月飾りクラフト
- 1月 ハート型のかご作り
- 2月 樹脂粘土で作るお雛様
- 3月 キーホルダー作り

○交流活動

- ・陶芸、絵付け教室
- ・映画鑑賞会
- ・外出行事（ぶどう狩り）
- ・朗読会、お楽しみ会
- ・障害者に関する交流会（5月、9月、2月 延べ76名参加）

<総括>

関係機関からの紹介や、通信を見て、と来所されるなどで、今年度の新規登録者は8名であった。年1回程度でも「久しぶりに来ました」と来所される方や、ほぼ毎日来られる方、「作業所を休んだのでこちらに来ました」「今月のチャレンジがやりたくて」と来所の理由はさまざまであるが、楽しむところ、話を聞いてくれる人がいるところ、いつでも歓迎してくれるところ、それぞれのニーズに対応した支援をしている。

また、前年度より必要な人にも行っている送迎を必要とする人が増えている。これまでは自家用で来所していたが、免許を返納した、また送迎してくれていた家族が送迎できなくなった、等に対する対応が今後の課題である。

▽ その他

○ひきこもり当事者とその家族との関わり

- 京都府青少年ひきこもり訪問支援「チーム絆」相談受付対応

3 NPO 法人スマイル会員加入状況

<加入状況>

令和6年3月31日時点

内 訳	正会員	賛助会員 (口数)
員 数	19名	1名
合計金額	57,000円 (入会金:2,000円) (年会費:3,000円)	5,000円 (1口:1,000円)